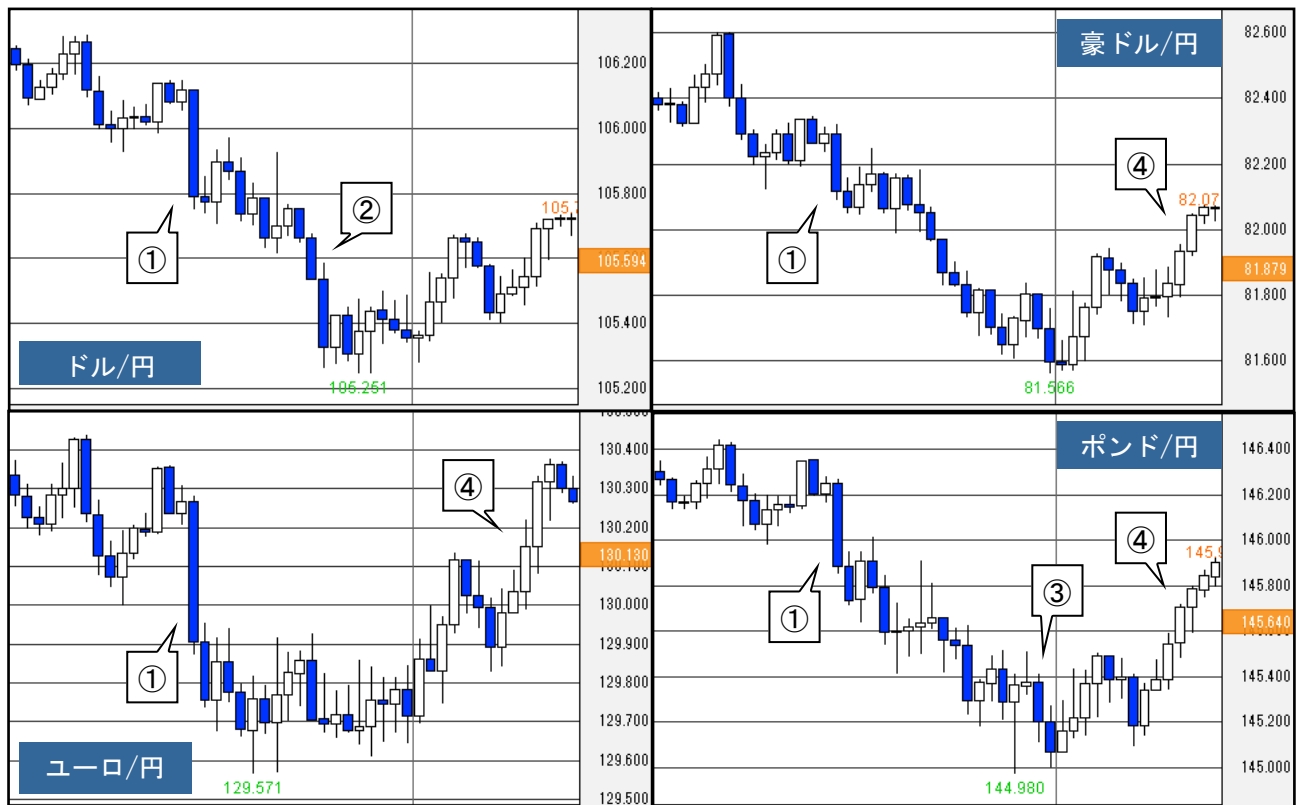


3月5日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、値が振れやすい地合い

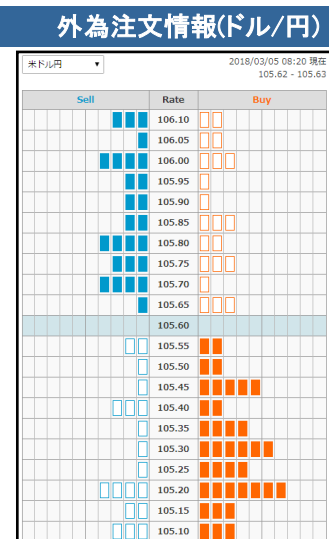
2日(金)の為替相場



期間：2日(金)午前7時10分～3日(土)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 黒田日銀総裁が「2019年ごろに物価目標達成なら出口を検討」と発言した事を受けて円が全面的に上昇した。黒田総裁はこれまで「2019年ごろに物価目標達成を見込むが、出口の議論は時期尚早」との見解を示す事が多かっただけに、大規模金融緩和からの出口への距離感が縮まったとの見方から円が買われた。
- ② トランプ米大統領が前日に打ち出した鉄鋼・アルミへの関税賦課について、中国やユーロ圏から反発の声が上がる中、トランプ大統領はツイッターで「(米国が)通商面で実質的に全ての国に対し何十億ドルも失っているとき、貿易戦争は有用で、勝つのも簡単だ」と発言。これを受けてドル安・円高に拍車がかかり、ドル/円は2017年来の安値を更新して105.20円台まで下落した。
- ③ メイ英首相は欧州連合(EU)離脱=Brexit後のEUとの通商関係について演説し、「将来的にEU法は英国に適用されない」「英国とEUは移行期間の時間は制限付きであること明確にしている」「英離脱交渉では両側とも望み通りにはならない」と述べて「悪い合意ならない方がまし」との考えを示した。
- ④ アジア株や欧州株の大幅安に続き下落して始まった米国株が下げ幅を縮小。一時300ドル超下落していたNYダウ平均が70ドル安まで値を戻す中、クロス円を中心に円売り優勢へと転換した。

2日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21181.64 ▼542.83	5928.896 ▼44.446	3254.528 ▼19.227	7069.90 ▼105.74	11913.71 ▼277.23
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24538.06 ▼70.92	0.0680% △0.0250	2.734% ▼0.018	1.474% △0.007	0.651% △0.008
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.2418% △0.0301	2.8643% △0.0565	61.25 △0.26	1323.40 △18.20	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	104.700-106.400	129.300-130.900	81.300-82.500	144.900-146.300

【ドル/円】

2日のドル/円は世界貿易戦争への懸念や日銀の出口観測が重しとなり下落。一時は105.20円台まで下値を切り下げて昨年来の安値を更新した。その後、クローズにかけて105円台後半へと値を戻したが、今朝は再び105円台半ばに押し戻されており上値の重い展開となっている。世界的な株安の流れが続けば節目の105円を試す展開となりそうだ。

ただ、ドイツ第2党社会民主党(SPD)の党员投票やイタリア総選挙(まだ出口調査の段階ではあるが)を波乱なく通過した事で、リスクオフムードに拍車がかかる事態は免れた公算が大きい。トランプ米政権の関税強化や黒田日銀総裁の出口発言に対する市場の反応はやや過剰という見方もある。株式市場に落ち着きに戻れば106円台半ばまで反発する余地はあろう。

いずれにしても、金融市場全体でボラティリティが高まっているだけにドル/円相場も値が振れやすい地合いが続きそうだ。

執筆者: 神田

本日および明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
3/5(月)	09:30		(豪) 1月住宅建設許可(前月比)	-20.0%	+5.0%
	14:15		(日) 雨宮氏・若田部氏日銀副総裁候補、所信聴取	—	—
	18:30		(英) 2月サービス業PMI	53.0	53.3
	19:00		(ユーロ圏) 1月小売売上高(前月比)	-1.1%	-0.1%
	24:00	◎	(米) 2月ISM非製造業景況指数	59.9	59.0
3/6(火)	27:15		(米) クオールズFRB副議長、講演	—	—
	09:30	○	(豪) 1月小売売上高(前月比)	-0.5%	+0.4%
	09:30		(豪) 10-12月期経常収支	-91億AUD	-122億AUD

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。